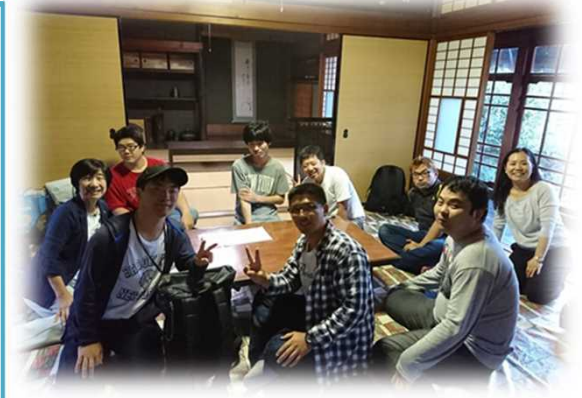


# 社会福祉法人一麦会(和歌山市・紀の川市)「ゆめ・やりたいこと実現センター」に関する取組

## 社会福祉法人一麦会(麦の郷)について

1977年に任意団体「たつのご共同作業所」として発足。障害者・家族との出会いの中で「ほっとけやん(放っておけない)」として「地域協同」のもと、障害種別を超え、福祉の谷間や対象とされなかった人についての支援と仕組みづくりを推進している。現在、一麦会では、生活支援(生活介護・相談)、就労支援、グループホーム、障害児支援、ひきこもり者支援と計38事業を行っている。就労支援では、内職にみられるような型にはまった仕事を廃止し、地域住民や一般社会と関わりをもつことが出来る仕事おこしをおこなっている。一麦会で働く当事者たちは、支援を受け保護をされる対象ではなく仕事を任せ誇りと自信をもち地域で働いている。それは、支援者/被支援者という関係ではなく、地域社会の中で「共に歩み、共に働く」こと40年間実践し続けてきた実践体である。

また、生涯学習活動においては、みんなで踊り隊のよさこい踊り、「青年学級すばらしき仲間たち」の当事者活動、アートサポートセンターRAKUの表現活動や作品展、作業所交流運動会、つながり文化祭、夏祭り、登山、スキーなどを展開。



## 学習プログラム構成と実施体制 (事業名:ゆめ・やりたいこと実現センターの立上げ)

やりたいことを**提案・企画・実現**みんなで創る活動

人は生涯にわたって学び続け発達する存在  
学ぶことで幸せを追求することが生涯学習

### 夕刻のたまり場(居場所)

ゆっくりしたり、食べたり、飲んだり話したり、フリーな居場所(毎週水曜日16時~20時)

<参加者の声>

- ・みんなと「やりたいこと」を話して、コミュニケーションがとれるのがいい。
- ・仕事とか、年齢とか違う人たちと会えるのがいい。

### つぶやきサポート(相談支援)

愚痴や困りごと、嬉しいことを共有できる場。支援者⇔被支援者の関係ではなく共に生きる“なかま”として受けとめ、分かち合う。

### shitaina(したいなあ)work shop(講座)

「興味はあるけどしたことがない」「やってみたいけどひとりではむずかしい」そんな「やってみたい!」を出し合って実現していく

<参加者・家族の声>

- ・作業所以外の居場所がなかったが講座を通じて、居場所ができて楽しそうで家族としてもありがたい。
- ・作業所や職場の人間関係と違い見守ってもらえる場所、教えてもらえる場所でありながら立ち位置が同列なのがいい。
- ・講座や夕刻たまり場の中で家族や友だち同士でもできないことをみんな共にできることが親としてもうれしいし助かる。

### 選材発掘・人材バンク

地域には生涯学習のサポーターがいっぱい!  
「こんなことができます!」を募り人材バンクに登録「教える」のではなく「一緒に」を大切に。人材発信の拠点に。

衣・食・住・働が保障されていることで「生きる」ことが出来る、そして、学びや活動・役割が保障されていることで「生きる」ことが出来る。『生』『活』を保障し「ゆめ」や「やりたいこと」を実現させるセンターです!

### <講座一覧 全32講座(複数開催あり)>

健康(食事)講座(講師:紀の川市保健師・管理栄養士)、防災グッズづくり講座(講師:紀の川市地域おこし協力隊)、書道でアート(講師:書道家 岩崎碧洞さん)、ゆる体操講座(講師:おおみや診療所 奥村医師)、金剛山登山&BBQ(講師:大田昌彦さん)、ちぎり絵講座(講師:梅本陽子さん)、新聞紙アート(講師:溝端秀章さん)、フルーツクリスマスリースづくり(講師:紀の川市地域おこし協力隊)、ヨガでこころもからだも気持ちよく(講師:山本まり子さん)、フラワーアレンジ(講師:仁井村さん)、映画会『パケツと僕!』(講師:中橋真紀人さん)、映画『真白の恋』(講師:中橋真紀人さん)、マヤ文明のなぞを探る(講師:精神科医 宮西Dr)、障害者の生涯学習について シャインの活動について(講師:小畑耕作さん(大和大学) 小林正尚さん&シャイン利用者さん)、カラオケ教室でみんなと歌おう(講師:ゴスペルシンガー津嶋佳奈さん)、桃源郷マロン・ランニング・クリニック(講師:中村正男さん)、音楽で学ぼう中国の文化(講師:朋友(ボンヨウ)小敷真一さん)、絵手紙を楽しもう(講師:絵手紙作家 名倉くみ子さん)、マジック講座(講師:マジシャン瀧本尋紀さん)、トークと絵本のついで(講師:絵本作家 子安るいさん)、ロケットストップを作ろう(講師:神徳政幸さん)、考古学から見える紀州の歴史(講師:北野隆亮さん)、ポリ袋クッキング(講師:紙谷さん)、俳句に挑戦(講師:鳥久美子さん)、マカロニアート(講師:岡本あゆみさん)

## 連携協議会

関係機関・団体等との連携を図り、企画を実施!

<連携協議会での意見>

- ・それぞれの共に学び合う講座に意義があり、「よかった」というだけではなく、待ち望まれていたような感じがある。
- ・“ねばならない”ではなく、アメリバ的に広がってきた障害のある人の生涯学習の団体がこの事業によって一堂に会し、他の団体とつながってきたことがすごいと思う。

探す! 既存団体の活動や生涯学習の情報収集  
伝える! 情報を発信  
つながる!(協働する) 連携して一緒に学ぶ・楽しむ